



平和首長会議ニュース

2019年11月 / 第119号

平和首長会議加盟都市数
163 各国・地域 7,847 自治体
日本国内加盟自治体数：1,732
(2019年11月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会を開催しました
- ◆第11回平和首長会議理事会を開催しました
- ◆「ヒロシマ平和行政実務者研修」参加者を募集しています - 必要経費の一部を支援 -
- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2019 ~ご応募ありがとうございました~
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆広島市立大学からのお知らせ:大学院平和学研究科の学生を募集します
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 各国・地域 7,847 自治体

■第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会を開催しました

[2019年10月24日・25日 東京都国立市]

平和首長会議の国内における取組の充実を図るため、第9回目となる国内加盟都市会議総会を全国から83自治体・147人(うち首長37人)の参加を得て、東京都国立市で開催しました。

初日は国立市プログラム「ピース フロム 国立」として、地元高等学校生徒による演奏、国立市の平和の取組発表、「くにたち原爆・戦争体験伝承者」による講話、青少年「平和と交流」支援事業(HIROSHIMA and PEACE)国立市参加者による報告等が行われました。

2日目は、兵庫県明石市長から「太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会」について、京都府向日市長から同市の平和に関する取組事例の報告を受けた後、事務局から平和首長会議メンバーシップ納付金平成30年度決算、未加盟都市への加盟要請、東京オリンピック・パラリンピックに向けて実施する平和の取組等について説明しました。また、平和首長会議事務総長から世界情勢と平和首長会議の取組について報告を行いました。

さらに、日本政府に対する核兵器廃絶に向けた取組の推進についての要請文が全会一致で承認され、内閣総理大臣あてに提出することになりました。

最後に、「[第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会総括文書](#)」を採択し閉会しました。



第9回国内加盟都市会議総会の様子

▼第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催結果について(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/jpmeeting/9th_jpmeeting.html

=====
■第 11 回平和首長会議理事会を開催しました

[2019 年 11 月 11 日・12 日 ドイツ・ハノーバー市]

=====

平和首長会議副会長都市であるドイツ・ハノーバー市において、同市の多大なる協力を得て理事会を開催し、役員都市 10 都市が出席しました。2020 ビジョンの達成状況や現行動計画の取組状況を踏まえ、2021 年以降の次期ビジョン・行動計画について協議しました。

次期ビジョンには、「世界恒久平和」への道筋として「核兵器のない世界の実現」と「安全で活力のある都市の実現」を目標として掲げるとともに、これらの目標の達成に向けた市民社会の参画を得るための理念を示す「平和文化の振興」を掲げることなど、基本的な方向性について合意しました。さらに、今後も、来年 8 月に開催する第 10 回平和首長会議総会における次期ビジョン・行動計画の策定に向けて、引き続き役員都市をはじめ関係者と議論を深めていくことを確認しました。

また、2020 ビジョンの最終年である 2020 年に重点的に取り組む事項として、「『核兵器禁止条約』の発効等の平和首長会議の目標の達成に向けた加盟都市の拡大」、「次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施」、「広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年『平和と交流』支援事業等の充実」を決定しました。

この他、スペイン・グラナダズ市を中心としたヨーロッパの役員都市から、来年 1 月に国を超えた地域支部としてヨーロッパ支部を設立することが提案され、承認されました。また、東京オリンピック・パラリンピックに向けて同組織委員会が実施する平和の取組への参画や、2020 年 NPT 再検討会議に際しての取組について事務局から報告を行いました。最後に、2 日間の議論を踏まえ、今回の理事会の**総括文書**を採択して閉会しました。

第 11 回理事会の詳細については、近日中に平和首長会議ウェブサイトにおいてご報告します。



=====
■「ヒロシマ平和行政実務者研修」参加者を募集しています ー必要経費の一部を支援ー

=====

若手の自治体職員を広島に招へいし、平和行政の実務を学んでもらうことにより、所属自治体での平和への取組を支援します。

- 対 象 : 平和首長会議国内加盟自治体の若手職員(概ね 40 歳未満の者)
- 実 施 日 : 2020 年(令和 2 年)1 月 30 日(木)、31 日(金)
- 内 容 : 被爆の実相の学習、平和推進事業の企画立案等
- 募集人数 : 10 名
- 経費支援 : 広島までの往復交通費、宿泊費等
- 申込期限 : 2019 年(令和元年)12 月 13 日(金)

▼詳しくは、平和首長会議ウェブサイトの募集要項をご覧ください。

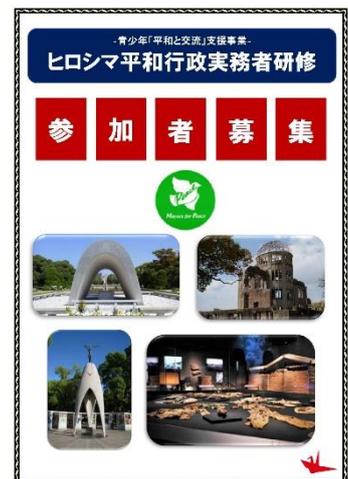
http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2019_HPS.html

▼問い合わせ先

平和首長会議事務局

電話 : 082-242-8872

Email : rentai@pcf.city.hiroshima.jp



=====
■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2019 ~ご応募ありがとうございました~

=====

平和首長会議では、行動計画(2017 年-2020 年)に重点取組事項として掲げた「次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育」の一環として、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテストを昨年度から実施しています。

2 回目となる本年度は、世界 19 か国 64 都市から 1,000 点を超える作品が寄せられました。特に国内加盟自治体からの応募については、昨年度の 2 都市から 25 都市に増加しました。本事業の趣旨をご理解いただき、貴自治体内で応募の呼び掛けをしていただきまして誠にありがとうございました。

今後、審査により入賞作品を決定し、12 月下旬に平和首長会議ウェブサイトにおいて発表します。最優秀作品は平和首長会議の PR グッズ(クリアファイル)のデザインとして採用されるほか、受賞者全員に賞状を贈呈します。

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第 61 回)

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
=====

アフリカ中部コンゴ(旧ザイール)で紛争下の性暴力の被害者を支援し、昨年のノーベル平和賞を受けた産婦人科医デニ・ムクウェゲ氏(64)が、原爆資料館メモリアルホール(広島市中区)で講演しました。コンゴの問題は、世界中に需要がある鉱物資源の争奪と直結していると指摘し「日本と国際社会は、わがこととして関心を持ってほしい」と訴えました。

コンゴは 1990 年代に始まった紛争による死者が 600 万人に及ぶとされています。特に近年、ムクウェゲ氏が住む同国東部では、スマートフォン製造に不可欠な鉱物資源が豊富な地域の住民を、政府側と反政府側双方の武装勢力が組織的なレイプを繰り返すなどして恐怖に陥れ、支配しているそうです。

ムクウェゲ氏は「女性も、レイプを目撃した家族も被害者。国内避難民となるか、支配され続けるかの選択肢しかない。地域が戦略的に破壊されている」と説明。「コンゴ政府はもちろん、加害者の処罰に動こうとしない国際社会にも責任はある。無関心と関わなければならない」と強調しました。

講演後には、広島市中区で中国新聞の単独インタビューに応じました。「男性優位の社会がレイプを許している。教育は非常に大切であり『男性は女性と平等だ』と世界中で教える必要がある。女性も男性も、等しく人間性を保障されなければならないという価値観が育まれるべきだ」と話しました。

中国新聞の中高生でつくるジュニアライター取材も受け、色紙に「広島若い皆さんに、男女平等を達成するよう動いてほしい。男女相互の尊厳のため、そしてジェンダーに起因する暴力をなくすために」などと書いてくれました。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○本館の耐震工事完了 原爆資料館 建物下 通行可能に

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=94143>

○北米被爆者へ医師団 24 日から広島県 5 都市で健康相談

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=94075>

○被爆者らの声に耳傾けて カナダから参列 サローさん・医師柴田さん

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=94067>

○被爆日用品 3D 映像化 米アーティストら一部上映へ 22 日から「ゼロプロジェクト広島」

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=94046>

○平和への思い 芸術で表現 22 日から「ゼロプロジェクト広島」

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=94044>

=====
■広島市立大学からのお知らせ:大学院平和学研究科の学生を募集します

広島市立大学は、平和学をはじめ国際政治学、国際法学、国際関係論の関連する専門領域の分析手法を修得し、現実の諸問題を専門的かつ総合的に分析する能力を有するプロフェッショナルな人材を養成するため、2019 年 4 月に平和学研究科を開設しました。

紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案できる研究者、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点からアイデアを発信できるジャーナリスト及びマスメディア専門家、平和創造と平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定及び公共政策・国際関係の実務に携わる公務員を養成することにより、平和創造及び平和維持への貢献を目指しています。

このたび、2020 年 4 月入学の入試について募集要項を公開しました。(出願期間:12 月 18 日～12 月 24 日)

ついては、かかる課題に関心をお持ちの自治体職員の皆様に、平和学研究科への入学をご検討いただきたく、ご案内します。

意欲ある社会人の修学をバックアップするための社会人支援制度として、長期履修制度及び学費免除制度(申請による審査あり)を設けていますので、貴自治体職員に幅広く情報提供いただくようお願いします。

▼平和学研究科入試情報

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/guide/category0002/c00009899c00009904/c00009904/>

▼平和学研究科学生募集要項

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/guide/category0002/c00009899c00009904/c00009933/>

平和学研究科のカリキュラム、入試情報等の詳細については、以下のリンクをご覧ください。また、パンフレット送付のご希望があれば、広島平和研究所事務室にお問い合わせください。

▼平和学研究科ウェブサイト

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/department/c00002162/c00006584/peacestudies/>

■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

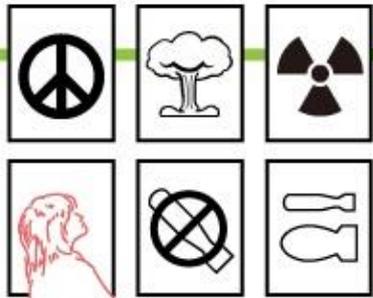
▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

【取組事例】



**「核兵器禁止条約」の
早期締結を求める署名活動に
取り組んでください**



**平和首長会議原爆ポスター展を
開催しましょう**



**「広島・長崎講座」の普及に
ご協力ください**

■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。



**被爆樹木二世の苗木を
育ててください**

※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>

■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として「『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動」を展開しています。

平和首長会議に寄せられた「『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名」と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



■平和首長会議加盟自治体数: 163 各国・地域 7,847 自治体

11月1日付で、18自治体が加盟し、加盟自治体数は7,847(163各国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

ヨルダンから、アル・ワサティヤ市など4自治体が加盟しました。今年8月、平和記念式典参列のためにアンナブ駐日大使が広島市を訪問された際に、加盟拡大に係る協力を要請したところ、同大使と同国外務省等の協力により加盟が実現しました。

マルタから、タ・ケルチャム市が加盟しました。今年8月、栗栖在広島名誉領事が平和記念式典に参列された際に、加盟拡大に係る協力を要請したところ、同領事とマルタのスピテリ大使の協力により加盟が実現しました。

トルコから、ベシクタシュ市が加盟しました。同市の姉妹都市であるドイツのエランゲン市の呼び掛けによるものです。

スロベニアから、スロヴェンスケ・コニツェ市が加盟しました。同市の姉妹都市であり、平和首長会議副会長都市及びクロアチアのリーダー都市であるピオグラード・ナ・モル市の呼び掛けによるものです。

ドイツからアッシェベルク市など8自治体が加盟しました。平和首長会議副会長都市であり同国におけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けによるものです。

この他、メキシコ、オランダ、スペインから各1自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

▼11月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2019/newmembers1911_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp